

## 大分県におけるモウソウタケノコ生産の現状 ( I )

## — 大分県ならびに臼杵市におけるモウソウタケノコ生産の現状 —

九州大学農学部 青木 尊 重  
 大分県林業振興課 桑野 功  
 大分県臼杵事務所 増田 隆 哉  
 大分県日田事務所 高倉 茂 樹

## 1. 大分県におけるモウソウタケノコ生産の現状

大分県の竹林面積は11,223 haで、そのうちマダケ林が78.1%・モウソウタケノコ林が9.4%・ハチク林が5.3%・その他が7.2%である。1,056 haのモウソウタケノコ林中、タケノコ生産で成果をあげている主な市町村としては、日田市と臼杵市と日田郡中津江村である。

大分県林業振興課調べによれば、大分県産筍の生産量と生産額は、昭和56年度で、青果用が684ton・9,580万円・140円/Kgで県内産筍の青果市場での占有率は93%、罐詰用が810ton・3,650万円・45円/Kgで県内産筍の罐詰加工工場への供給率は52%とみなされている。なお、日田市産が712ton(48%)・臼杵市産が438ton(29%)で、両者をもって77%を占めている(表-1)。

## 2. 大分県としての振興対策

モウソウタケノコ生産量は、昭和50年をピークに表-1のような推移を示しているのので、①県産筍の供給率の向上をはかることと②豊富な温泉熱を利用した「筍の早出し」の現地適応試験事業を試みてきている。

一つは、昭和54年度から昭和57年度にかけて「特用林産振興対策事業・林産集落振興対策事業」で、臼杵市・日田市・中津江村の60haのモウソウタケノコ林の施業改善や作業道の建設や運搬車の購入等に2,414万円を投入してきた。昭和58年度も19.5haのモウソウタケノコ林の改良に558万円を投入の予定である。

今一つは、温泉熱を利用した「筍の早出しの実験事業」を、昭和55年度から湯布院町内で5ヶ年間、昭和56年度から別府市内で4ヶ年間、実験を継続中である。

## 3. 臼杵市におけるモウソウタケノコ生産の現状

大分県の特用林産振興対策事業の進展の度合いを、臼杵市の場合について述べると、次のとおりである。

臼杵市農協の農産品の年間売上高は約10.5億円で、甘夏・カボス等の柑橘類が6.5億円、米麦が2.7億円、大根とトマトと煙草がそれぞれ0.3億円、モウソウタケノコが0.4億円(3.8%)となっている。

タケノコは約4%の重味を持っているので、モウソウタケノコ林の園地化へ傾斜し、昭和55年度から「特用林産振興対策事業」を5ヶ年間継続実施の予定である。

昭和57年度までに28haのモウソウタケノコ林に764万円の投入がなされた。その結果、生産量は、昭和56年が438ton・昭和57年が245ton・昭和58年が464tonとなった。なお、臼杵市農協扱いの筍の青果用と罐詰用の規格別の数量・金額・1Kg当りの価格は表2・3のとおりで、3月11日～4月4日の間の4Kg詰の期間は21,566Kg・322円/Kg・694万円、4月5日～10日の間の10Kg詰の期間は28,308Kg・180円/Kg・642万円であった。規格別価格については、4Kg詰の場合 $L > M > 2L > 3L > S > 2S$ の順で、10Kg詰の場合 $3L > 2L > L \div M > S$ の順であった。罐詰用筍の場合、Sが238ton・90円/Kg・2,145万円、Mが82ton・75円/Kg・622万円、Lが86ton・50円/Kg・433万円、規格外が20ton・34円/Kg・68万円で、1Kg当りの価格は $S > M > L$ 規格外の順であった。また、期日別の取扱い数量や価格の推移は表-3のとおりで、1日でも早い出荷が有利であった。

よって、大分県臼杵事務所林業課と臼杵市役所と臼杵農協による当面の対策は、次のとおりとなっている。

- 1) 現在、10a当り450～600本立の母竹を、150～200本立へと誘導すべく、古竹を伐採整理すること。
- 2) そのため、伐採した古竹の用途の拡大をはかる。
- 3) 筍の規格は、主力の罐詰用では、Sの価格が高いので、S級の筍の発生比率が高くなるように努める。
- 4) 青果用の筍の出荷比率を、現在の8%から、早急に、20%前後へ引揚げるため、早出し対策等の何らかの積極的な施策をとりあげ、強力に推進させること。
- 5) 現在、下北地区のみがS級の収量が高いので、その他の地区も、下北地区の水準にまで引揚げること。

なお、昭和58年に、始めてとりあげてみたのが、近頃、消費者に好まれてきた「ゆがき筍」の試作である。農協から地元の罐詰工場に製造を委託して、18tonの筍から9tonの製品が生産され、これを東京市場へ出荷したところ好評であった。よって、「ゆがき筍」に関しては、農協側からも、筍の出荷者側からも、大きな期待がよせられ、明年も東京市場へ出荷の予定である。

## 4. M家のモウソウタケノコ林の施業体系

臼杵市随一と目されているM家のモウソウタケノコ林の施業体系は、初夏と盛夏と早春に10a当り1回に40Kg

の筍専用化成肥料を投入し、初夏と早春に除草剤を、盛夏に下刈と園地の階段化を、裏止めも実施している。

10a 当りの収穫量は約 1ton で、青果用と缶詰用とを合算した平均単価は 100 円/Kg前後である。なお、青果用の比率を高めるため、黒色ビニールでマルチして、白杵地方の平均的な発筍期よりも約半月早く掘出して、大分市と別府市の青果市場へ出荷しているようである。

家計に対する筍の寄与率は 50 多位で、水稻が 30 % 位、柑橘類が 20 % 位の割合になっているとのことである。

る。

M家のモウソウテク林 160a は 1 団地で、古生層の結晶片岩の地質上になりたち、B<sub>D</sub>(d)型土壌である。立竹の平均直径は 10cm で、標本的に抽出した林分 10a 当りでは、1 年生竹 50 本・2 年生竹 35 本・3 年生竹 60 本・4 年生竹 60 本・5 年生竹 50 本・合計 255 本であった。昭和 58 年の筍生産量は、青果用が 1.45ton・缶詰用が 15.45ton・自家用が 0.1ton の合計 17ton であった。なお、表-4 は、M家と日田市の A 家との比較である。

表-1 大分県の竹林面積とたけのこ生産量の年次別推移一覧表

区分		昭和 50	51	52	53	54	55	56
竹林面積	ヘクタール	9057	9707	9559	9347	8964	8763	8763
	モウソウテク	923	937	882	1268	931	933	1056
その他		1679	1445	1397	1234	1518	1395	1404
計		11859	12089	12138	11691	11594	11292	11223
たけのこ生産量	10a 以内生産	905 (9380%)	325 (8760%)	506 (8877%)	972 (9643%)	669 (8814%)	777 (9212%)	684 (9306%)
	10a 以外生産	59 (612)	46 (1240)	64 (1123)	36 (357)	90 (1186)	66 (783)	51 (684)
計		964	371	570	1008	759	843	735
竹林の総面積	10a 以内	1701 (4631%)	1101 (4400%)	1315 (3538%)	731 (3880%)	1017 (4389%)	1006 (3658%)	810 (3972%)
	10a 以外	1972 (9369%)	1401 (9600%)	2402 (6482%)	1150 (6114%)	1300 (5611%)	1774 (6342%)	1229 (6027%)
計		3673	2502	3717	1881	2317	2780	2039
生産量の増減	10a 以内	2606 (3920%)	1426 (4963%)	1821 (4249%)	1703 (5899%)	1686 (5481%)	1783 (4962%)	1494 (5386%)
	10a 以外	2031 (4380%)	1447 (5037%)	2466 (5732%)	1186 (4105%)	1390 (4519%)	1810 (5038%)	1280 (4624%)
計		4637	2873	4287	2889	3076	3593	2774

※ 昭和 56 年の日田市の生産量は 712ton、白杵市の生産量は 438ton (大分県林業課調査へ)

表-2-1 昭和 58 年産青果用筍規格別平均価格

規格	年	kg	3 L		2 L		L		M		S		合計										
			数量	単価	数量	単価	数量	単価	数量	単価	数量	単価	数量	単価									
5 年	58	248	289700	1168	1341	1591500	1187	1894	2630790	1389	1342	1238670	1370	506	537000	1061	38	51470	867	5389	6939530	1287	
	57	1338	820040	613	2141	1841180	860	1923	2016140	1048	1195	1275075	1007	427	422225	309	53	47080	888	7077	6421470	907	
比率		18	35	190	62	86	138	98	130	132	112	144	138	118	127	107	109	109	100	76	108	141	
10 kg	58	6	12050	2008	329	613050	1863	789	1413550	1791	482	899600	1845	68	90660	1333					1674	3018910	1803
	57	8	7400	925	392	439625	1121	347	455825	1313	110	126040	1146								857	1028690	1306
比率		75	163	217	83	139	166	227	310	136	438	706	160								195	293	356
合計		58	254	301750	1676	2204950	2683	1043440	1824	2728270	574	627660	58	51470	7063	9558440	1061	38	51470	867	5389	6939530	1287
57		1346	827440	2533	2380800	2270	2471765	1305	1401115	1427	422225	53	47080	7934	7450430	2062	103	134	126	76	108	141	
比率		18	36	65	97	118	164	139	139	139	149	134	149	109	109	103	134	126	76	108	141		

表-2-2 昭和 58 年産加工用筍販売実績

年	kg	S		M		L		規格外		合計						
		数量	単価	数量	単価	数量	単価	数量	単価							
58	238	21451	90	82	6216	75	86	4329	50	20	684	34	426	32680	76	
57	121	10879	89	32	2291	71	34	1222	90	9	268	29	190	13159	77	
比率		196	197	101	256	271	105	252	251	100	222	255	117	217	216	98

表-3 昭和 58 年産加工用筍の取扱実績

期別	月日	S		M		L		規格外		合計					
		数量	単価	数量	単価	数量	単価	数量	単価						
1	4/11-12	29010	1235	3852046	6237	130	742436	2153	100	219089	230	80	18254	236200	4531885
2	4/13-14	34527	115	4110768	8907	110	1019693	3988	90	359285	280	70	27380	47803	5017799
3	4/15-16	32430	96	3444303	11014	80	943896	8206	70	592698	1303	43	98246	32018	4779130
4	4/18	39033	85	3400788	14603	70	1054236	18236	69	1031291	1304	45	122086	72216	5371084
5	4/19-20	24064	78	1329291	9623	68	690140	11230	45	566710	2038	35	76812	47455	3252233
6	4/21	3412	73	1238802	10069	63	664043	12084	32	578479	3033	30	98804	30148	2180128
7	4/23	26421	66	4361448	3140	56	184206	3667	36	134224	1203	27	33913	14251	4779130
8	4/25-26	20296	61	1316794	7954	51	424232	10940	31	364871	1235	21	75700	42925	2181619
9	4/27-28	10467	59	638946	4079	48	203485	5548	30	177213	1956	21	45336	22051	1085490
10	4/29-30	3673	57	454854	2914	47	144207	4231	30	136252	1853	20	38360	16471	771275
11	5/2	3748	55	213626	1393	45	63591	2280	30	89940	913	20	26042	8792	396229
12	5/4	5720	52	214288	11947	42	89848	3620	28	119149	1275	20	30950	13077	582318
合計		27901		21480619	82913		6216003	89758		4329012	20101		684658	426325	32680388

(設-2, 3は白杵市農協調べ)

表-4 昭和 56 年の A 家と M 家のモウソウテク林管理の比較

項目	A家(日田出)		M家(白杵出)	
	数量	単価	数量	単価
平均直径 (cm)	1.51		1.81	
作時水灌 (mm)	1.850		1.707	
年早刈回数 (回)	6.8		6.2	
地質	第3紀層の安山岩 B <sub>D</sub> 型		古生層の結晶片岩 B <sub>D</sub> (d)型	
経営面積 (ha)	1.195	(7 団地)	1.600	(1 団地)
竹	1 年生竹	65 本	50 本	
	2 年生竹	46	35	
	3 年生竹	33	60	
	4 年生竹	71	60	D = 1.2cm
	5 年生竹	—	50	D = 1.0cm
合計	215	255		
林	専用化成肥料	48kg × 3 回 = 144kg	40kg × 3 回 = 120kg	
	鶏糞	335kg × 1 回 = 335kg	200kg × 1 回 = 200kg	
	石灰	25kg × 3 回 = 75kg	—	
	除草剤	5kg × 1 回 = 5kg	—	
	肥料代	1.8706 円	1.3000 円	
労務	労務費	1.8706 円	1.3000 円	
	労務費	1.8706 円	1.3000 円	
	労務費	1.8706 円	1.3000 円	
	労務費	1.8706 円	1.3000 円	
	労務費	1.8706 円	1.3000 円	
収入	収入	1.8706 円	1.3000 円	
	収入	1.8706 円	1.3000 円	
	収入	1.8706 円	1.3000 円	
	収入	1.8706 円	1.3000 円	
	収入	1.8706 円	1.3000 円	
支出	支出	1.8706 円	1.3000 円	
	支出	1.8706 円	1.3000 円	
	支出	1.8706 円	1.3000 円	
	支出	1.8706 円	1.3000 円	
	支出	1.8706 円	1.3000 円	
1kg 当り単価 (円)	6.8 円	1.0 円		
家計寄与率 (%)	30%	(粟 20kg × 200円)	50%	(粟 30kg × 200円)